

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	アルプ스에隠された駒ヶ根市の魅力再認識・全国発信事業 (第三弾)
事業主体 (連絡先)	こまがね市民活動支援協会 (駒ヶ根市中央16番7号)
事業区分	産業振興、雇用拡大 ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,078,230 円 (うち支援金 : 808,000 円)

事業内容

昨年、市民投票により決定した「駒ヶ根三十六景」を定着させるため、①絵地図の制作、②フォト・写真コンテストの開催、③景観保全活動について事業を展開した。当初同時並行で進めるつもりであったが、まずはPR用の写真等を揃えるということから、②のフォト・写真コンテストに重きを置いた。9月1日より募集したフォト・写真は154点の応募をいただき、受賞作品については、現在も市内各所で展示会を開催している。この受賞作品を軸に、3種類の絵(写真)地図を作成し、関係各所に設置・配布を行った。残念ながら、景観保全活動は現地視察で終わってしまったが、「駒ヶ根三十六景」のPRについては十分な成果を残すことができた。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

「駒ヶ根三十六景」の定着を最優先に事業を展開してきた。その中で、フォト・写真コンテストに比重をかけたことにより、154点の作品応募があったことが一番大きな成果であった。また、駒ヶ根市立博物館をはじめ、市内公民館、観光施設、大型ショッピングセンター等、事業の趣旨を理解いただいた各施設において受賞者の作品展を開催、「駒ヶ根三十六景」を大きく広報することができた。結果、市民環境会議の席上でも「駒ヶ根三十六景」について意見があったり、配布したカレンダーへの問合せが相次ぎ、400部を超える冊数を配布した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

フォト・写真コンテストはコンテスト後のカレンダー販売等により十分継続していけることが判明したので、続けていきたいと考えている。景観保全活動については市環境課や他の市民団体と協力しながら、看板の設置や新たな事業について考えていく。



【コンテスト要項】

【目標・ねらい】

①「駒ヶ根三十六景」の広報・宣伝を進め、イベント開催、広報物制作を通して観光客誘致・交流人口増加を目指す。

※自己評価 【 A 】

【理由】

フォト・絵画コンテストには154点もの作品の応募があり、展示会でも、多くの方に作品を観てもらうことができたため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある